

社会教育研究部門

「教育と公共」研究部会（第8回）

日時：2019年11月8日（金）13:00～16:00

場所：野間教育研究所 2F 閲覧スペース

出席：田嶋一・浅井幸子・上野正道・仲田康一・藤井佳世 各兼任研究員
吉久知延所長・金沢千秋・川上智子

欠席：狩野浩二兼任研究員

内容：（1）田嶋一研究員から報告

- ・「あいちトリエンナーレ」の「表現の不自由展」中止に関する朝日新聞の記事に、「公共」について言及があったこと
- ・12月15日の「大田堯先生を偲びお仕事を引き継ぐ研究集会」について説明と確認

（2）藤井佳代研究員から報告：教育人間学と公共

1. 教育人間学の思想：その歴史、経緯／『人間学的に見た教育学』（ボルノー）と、ヴルフ著『教育人間学へのいざない』『歴史的人間学事典2』の紹介
2. 日本の教育人間学：森昭（1915－1976）を著書の『人間形成言論』をもとに紹介
3. 教育的公共性の議論：森昭の思想を継承をしている田中每実「臨床的教育理論と教育公共性」などを紹介
4. 見過ごされた公共？

（3）浅井幸子研究員から文献紹介：『ホーレス・マン教育思想の研究』（渡部晶、学芸図書株式会社、1981年）

- ・アメリカの教育行政家、ホーレス・マンの思想的背景。公立学校論、教育課程論、教授論、教育罰論、政治教育論、道徳・宗教教育論、女子教育論、教師論 etc をたどり、教育改革者としてのマンの評価などを紹介
- ・「ホーレス・マンの公教育論」（川崎源）を資料として添付

・次回研究会は、12月13日（金）13:00～。

仲田研究員、狩野研究員の研究報告を予定